

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	八戸工業大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ハチノホコウギョウダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	キャリアデザインⅣ
	学部・研究科等名	バイオ環境工学科
	担当教職員名・役職	小比類巻 孝幸・教授
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	4
	受入企業等数	63
	受入企業等名	青森県立三沢航空科学館(指定管理者団体ジャンプアップみさわ)ほか自治体など。
	インターンシップの分類	4.他県をまたぐ広域インターンシップ,7.中小企業でのインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	3年生を対象に、夏季休業中に、希望学生のみが受け入れ企業に向いて1週間程度の就業体験を行う。受け入れ企業とのマッチングは、就職課からの情報を参考に行っている。	
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している,6.当該インターンシップは、選択科目として実施している,8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	1単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	シラバスでは1年開講科目となっているが、キャリア教育が進んだ3年時に実施することとして指導している。まとまった期間が必要なので、ほとんどの場合、夏季休業中に実施しているため、学生は出身地や就職希望の地域での体験を希望することが多い。	
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている,2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている,4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	4.その他
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	報告会等により、インターンシップの成果について、学科内で後輩などに伝達している。
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	受け入れ企業の事前調査・研究を行い、その企業を希望する理由、実施目的を記入した応募申請書を提出し、大学、受け入れ企業ともに許可した学生が参加している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	全学生ではないが、学科内の就職講演会などで、インターンシップにおける自己の体験談を、同級生や下位学年の学生に報告するようにしている。
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	3年担任教員を中心に、インターンシップ先の企業を訪問し、巡回指導している。遠隔地であっても、可能な限り受入企業を訪問し、学生との面談指導、企業担当者との面談を行っている。	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	4.その他
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	インターンシップ先が記述している学生の評価簿を基に評価を行う。
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	学生には、科目担当教員への面談報告を行わせ、インターンシップ先の評価簿と併せて総合的な評価を行っている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	原則5日間で実施しているが、不足する場合は事後指導で補っている。
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)		
5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	受け入れ先によりインターンシップの実施期間は様々である。5日以上の場合が多いが、たとえ5日に満たない場合でも、不足分を補う事後指導を実施して評価している。	

要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	受入先に勤務態度や意欲、成果などを記録した評価簿を大学に提出していただいている。さらに「インターンシップ巡回」時の面談で大学、受け入れ先双方のすり合わせも行いながら継続している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<a href="http://www.hi-tech.ac.jp/syllabus/2017/">http://www.hi-tech.ac.jp/syllabus/2017/</a>
問い合わせ先	大学等名	八戸工業大学
	担当部署名	学務部 就職課
	担当者役職名	課長
	担当者氏名	栗橋 秀行
	電話番号	0178-25-8029
	メールアドレス	job@hi-tech.ac.jp